

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	中延在宅サービスセンター		
事業所番号	A 0 9 3 1	-	0 0 2 8
事業所等の所在地	〒 1 4 2 - 0 0 5 3	区市町村名	東京都品川区
事業所等の延床面積	968.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 5 4 3	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	93	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	181	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	5	t
	総計(④=②+③)	④	186	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	186.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量	
				⑥	⑦	⑧=(⑥/1000)×⑦	排出係数	排出量 ^{※1} (t)
							⑨	⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	36,671.0	45.00	1,650.2	0.014	82.3
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	156,201.0	9.97	1,557.3	0.489	76.4
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	46,096.0	9.28	427.8	0.489	22.5
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	9.76	⑫	0.489	⑬
合 計						⑭ 3,635.3		⑮ 181.2
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	7,717.0			0.251	1.9
	公共下水道	☐	m ³	7,717.0			0.439	3.4
合 計								⑯ 5.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $⑩=(⑥/1,000)×⑨$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A211	所内で温暖化対策情報の提供
エネルギー等の使用状況の把握		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106 B107	過去のデータによる傾向の把握 主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C123	温湿度の適正管理
				C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策			E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

選択欄超過:E122,130

①事業所内の蛍光灯を支障が無い範囲で間引きして照明を20～30%程度落としています。

②事務機器については、使用しないときは節電モードになるようにしています。

③空調換気フィルターについては、定期的に清掃して館内の熱循環が良くなるように努めています。

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	心身障害者福祉会館									
事業所番号	A	0	9	3	1	-	0	0	3	1
事業所等の所在地	〒	1	4	2	-	0	0	6	4	区市町村名 東京都品川区
事業所等の延床面積	1,599.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	5	5	9	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		38	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	74	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	1	t
	総計(④=②+③)	75	t
	二酸化炭素排出原単位(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	46.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	2,377.0	45.00	107.0	0.014	5.3	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	142,255.0	9.76	1,388.4	0.489	69.6	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	9.76	⑫	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭	1,495.4	⑮	74.9
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	2,141.0			0.251		0.5
	公共下水道		☐	m ³	2,141.0			0.439		0.9
合 計									⑯	1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A211	所内で温暖化対策情報の提供
エネルギー等の使用状況の把握		B102	関連他者からの情報を加えて把握		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C119	自動販売機の不要時の停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C127	看板照明点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・一部LED化の追加として、屋上電灯設備、駐車場を平成29年度内に完了している。

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	かがやき園									
事業所番号	A	0	9	3	1	-	0	0	6	2
事業所等の所在地	〒	1	4	0	-	0	0	1	5	区市町村名 東京都品川区
	町名番地 以下	西大井6-2-14								
事業所等の延床面積	1,345.00		m ²		事業所等の実績年度の エネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類 における細分類番号	8	5	5	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容 からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=①×0.0258)		1	71	kl
二酸化炭素 排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	138	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	3	t
	総計(④=②+③)	4	141	t
二酸化炭素 排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	102.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計 の使用	単位	使用量 ④	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(④/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧×⑨×44/12)
燃料 及び 熱	都市ガス	☐	Nm ³	26,247.6	45.00	1,181.1	0.014	58.9
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者 の電線を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	163,213.0	9.76	1,593.0	0.489	79.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	9.76	⑫	0.489	⑬
合 計						⑭ 2,774.1		⑮ 138.7
そ の 他	水道及び工業用水道	☐	m ³	5,411.0			0.251	1.4
	公共下水道	☐	m ³	5,411.0			0.439	2.4
合 計								⑯ 3.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211 A216	所内で温暖化対策情報の提供 所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の 使用状況の把握		B101 B105	自ら入手可能な情報に基づく把握 エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104 C105 C108 C112 C132 C116	採光を利用した消灯の実施 昼休み時の消灯の実施 温度計等による室温の把握と調整 季節に応じた外気導入量の適正化 開け放し開口部面積の縮小 個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101 D103 D104 D106	ランプ等の定期的な清掃・交換 中央熱源機器等の定期点検の実施 空調フィルターの清掃・点検 ボイラ等の定期点検の実施	D102 D105 D108	セントラル空調のフィルター清掃 換気フィルターの清掃・点検 その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

①職員室の空室時等、こまめな消灯が実施できた。
②OA機器等不使用時の電源OFFに努めた。
対応に迅速に努めた。

③設備機器の老朽化に伴う修繕等の
④グリーンカーテン他植栽事業の取組みに努めた。

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	かもめ第三工房		
事業所番号	A 0 9 3 1	—	0 0 6 3
事業所等の所在地	〒 1 4 1 — 0 0 3 3	区市町村名	東京都品川区
事業所等の延床面積	617.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 5 5 9	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		31	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	61	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	1	t
	総計(④=②+③)	62	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	98.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	14,697.0	45.00	661.4	0.014	33.0		
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0		
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	59,110.0	9.76	576.9	0.489	28.9		
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑭	0.0	9.76	⑭	0.0	⑭	0.0
合 計							⑭	1,238.3		⑭	61.9
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	1,585.0				0.251		0.4
	公共下水道		☐	m ³	1,585.0				0.439		0.7
合 計										⑮	1.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の 使用状況の把握		B102 B105	関連他者からの情報を加えて把握 エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運 用 対 策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
	設備保守対策	D101 D104 D106	ランプ等の定期的な清掃・交換 空調フィルターの清掃・点検 ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
設備導入対策					

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

- ①天井カセット式空調について、省エネ機器を取り付け室温の適正化・効率化を図った。
 ②毎週水曜日は「ノー残業Day」を継続。

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	品川健康センター										
事業所番号	A	0	9	3	1	—	0	0	7	2	
事業所等の所在地	〒	1	4	0	—	0	0	0	1	区市町村名	東京都品川区
	町名番地下	北品川3-11-22									
事業所等の延床面積	7,729.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	☒ 1年度分 ☐ 1年未満					
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有										
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他										
日本標準産業分類における細分類番号	8	4	2	9	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
前年度の報告内容からの変更点											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=①×0.0258)		①	272	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	528	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	10	t
	総計(④=②+③)	④	538	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	68.3	kg・CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑤	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑤/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	95,208.7	45.00	4,284.4	0.014	213.6
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌18時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	644,032.0	9.76	6,285.8	0.489	314.9
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計						⑬	10,570.1	⑭	528.6
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	14,853.0			0.251	3.7
	公共下水道		☐	m ³	14,853.0			0.439	6.5
合 計								⑮	10.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A216	所内会議・研修会等で報告
エネルギー等の 使用状況の把握		B102 B105	関連他者からの情報を加えて把握 エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101 C109	空室・不在時等のこまめな消灯 空室・不在時等の空調停止		
	設備保守対策	D101 D103 D104 D106	ランプ等の定期的な清掃・交換 中央熱源機器等の定期点検の実施 空調フィルターの清掃・点検 ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策			E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

- ①外看板照明および外周部の完全消灯
 ②照明灯の間引き
 ③空調機の最小限運用

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	荏原保健センター		
事業所番号	A 0 9 3 1	- 0 0 2 7	
事業所等の所在地	〒 1 4 2 - 0 0 6 3	区市町村名	東京都品川区
事業所等の延床面積	4,441.00 m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 4 1 1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	149	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	290	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑮)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	293	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	65.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧)×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	58,208.1	45.00	2,619.4	0.014	130.6
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	327,259.0	9.76	3,194.0	0.489	160.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	0.0	9.76	⑫
合 計					⑬	5,813.4	⑭
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	4,685.0			0.251	1.2
	公共下水道	☐ m ³	4,685.0			0.439	2.1
合 計							⑮

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
エネルギー等の 使用状況の把握		B101 B105	自ら入手可能な情報に基づく把握 エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C105	昼休み時の消灯の実施
				C108	温度計等による室温の把握と調整
				C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

① 事務室等の照明灯の間引き
② 昼休み時の事務室等の照明灯の一部消灯

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	品川区清掃事務所品川庁舎		
事業所番号	A 0 9 3 1 - 0 0 3 3		
事業所等の所在地	〒 1 4 1 - 0 0 3 2 区市町村名	東京都品川区	
事業所等の延床面積	5,371.00 m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 8 1 7	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		1	114	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	219	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	7	t
	総計(④=②+③)	4	226	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	40.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他(温水)		☐	MJ	335,989.0	1.36	456.9	0.060	20.2	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	408,621.0	9.76	3,988.1	0.489	199.8	
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	9.76	⑫	0.489	⑬	0.0
合 計						⑭	4,445.1		⑮	220.0
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	10,451.0			0.251	2.6	
	公共下水道		☐	m ³	10,451.0			0.439	4.6	
合 計									⑯	7.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C131	出入口等の開口部付近の空調停止
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
				C129	季節に応じた温度設定の見直し
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E109	空調の冷温水配管の保温の実施
				E111	ポンプ・ファンのインバータ制御
				E122	給湯の温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

- ・自動扉の一部停止
- ・所内照明の間引き
- ・常に自動販売機の照明停止

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	品川区清掃事務所北品川分室		
事業所番号	A 0 9 3 1	—	0 0 5 4
事業所等の所在地	〒 1 4 0 — 0 0 0 1	区市町村名	東京都品川区
	町名番地以下	北品川3-10-19	
事業所等の延床面積	720.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 8 1 7	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑬×0.0258)		①	31	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	61	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	64	t
	二酸化炭素燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	84.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ④	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(④/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	10,057.1	45.00	452.6	0.014	22.6		
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
	その他()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0		
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0		
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	80,348.0	9.76	784.2	0.489	39.3		
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	9.76	⑫	0.0	0.489	⑬	0.0
合 計							⑭	1,236.8		⑮	61.9
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	4,988.0				0.251		1.3
	公共下水道		☐	m ³	4,988.0				0.439		2.2
合 計										⑯	3.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策		
		対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定			
エネルギー等の 使用状況の把握		B101 B105	自ら入手可能な情報に基づく把握 エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施	
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施	
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C115	事務用機器を業務終了時に停止	
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定	
				C118	自動販売機の休日・夜間照明停止	
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検			
	設備導入対策					

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

・所内照明の間引き

・常に自動販売機の照明停止

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	品川区資源化センター									
事業所番号	A	0	9	3	1	-	0	0	3	6
事業所等の所在地	〒	1	4	0	-	0	0	0	3	区市町村名 東京都品川区
町名番地以下	八潮1-4									
事業所等の延床面積	2,387.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☒ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	8	1	5	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		1	51	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	2	100	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	3	1	t
	総計(④=②+③)	4	101	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	5	41.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量		
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12	
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0	
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
	その他()		☐		0.0					
電気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0	
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0	
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	205,850.0	9.76	2,009.1	0.489	100.7	
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑪	0.0	
合 計							⑫	2,009.1	⑫	100.7
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	1,578.0			0.251	0.4	
	公共下水道		☐	m ³	1,578.0			0.439	0.7	
合 計									⑬	1.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策		
		対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備		A203	具体的な取組目標と内容の設定			
エネルギー等の 使用状況の把握		B101 B105	自ら入手可能な情報に基づく把握 エネルギー使用量の前年度比較	B104 B106 B107	設備ごとに詳細に把握 過去のデータによる傾向の把握 主要設備の使用状況の把握	
省エネルギー 対策	運用対策	C101 C109	空室・不在時等のこまめな消灯 空室・不在時等の空調停止	C108 C115 C117 C118	温度計等による室温の把握と調整 事務用機器を業務終了時に停止 便座ヒーター等温度の季節別設定 自動販売機の休日・夜間照明停止	
		設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
			設備導入対策			

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

- ・PC画面の輝度調整
- ・常に自動販売機の照明停止

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	しながわ水族館		
事業所番号	A 0 9 3 1	—	0 0 3 8
事業所等の所在地	〒 1 4 0 — 0 0 1 2	区市町村名	東京都品川区
事業所等の延床面積	4,529.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 2 1 4	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		①	730	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	1,435	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	③	10	t
	総計(④=②+③)	④	1,445	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	316.8	kg・CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	43,317.7	45.00	1,949.3	0.014	97.2
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	1,412,368.0	9.97	14,081.3	0.489	690.6
		夜間(22時～翌日8時)	kWh	1,324,671.0	9.28	12,292.9	0.489	647.8
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑪	9.76	⑫	0.489	⑬
合 計						28,323.6		1,435.6
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	15,592.0			0.251	3.9
	公共下水道	☐	m ³	15,592.0			0.439	6.8
合 計								10.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A216	所内会議・研修会等で報告
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C123	温湿度の適正管理
				C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
				C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D106	ボイラ等の定期点検の実施		
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E125	高輝度誘導灯の導入
				E105	照明用人体感センサの採用
				E107	蛍光灯へ電子安定器採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

選択欄超過:C131,115,117,118,120,127,128,129
E109,111,129,130,132,122,135,136,140

・節電対策で夏季期間、館内の空調や照明を調整

・館内すべての出入りにエアカーテンを設置

処理施設やポンプ等の運転を調整

・生物保存に支障のない範囲で、水

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	戸越公園									
事業所番号	A	0	9	3	1	-	0	0	3	9
事業所等の所在地	〒	1	4	2	-	0	0	4	2	区市町村名 東京都品川区
事業所等の延床面積	70.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	0	5	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		35	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	69	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	4	t
	総計(④=②+③)	73	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	985.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧×⑨×44/12)
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	0.0	45.00	0.0	0.014	0.0
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
	その他()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	141,988.0	9.76	1,385.8	0.489	69.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合 計							1,385.8		69.4
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	6,124.0			0.251	1.5
	公共下水道		☐	m ³	6,124.0			0.439	2.7
合 計									4.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩} = (\text{⑧} / 1,000) \times \text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
				B108	エネルギー等情報の対策への活用
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C112	季節に応じた外気導入量の適正化
				C123	温湿度の適正管理
				C115	事務用機器を業務終了時に停止
				C126	事務用機器の台数見直し・集約化
				C129	季節に応じた温度設定の見直し
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

選択欄超過:A214

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	天王洲公園		
事業所番号	A 0 9 3 1	-	0 0 4 0
事業所等の所在地	〒 1 4 0 -	0 0 0 2	区市町村名 東京都品川区
事業所等の延床面積	403.00	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有		
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)		
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他		
日本標準産業分類における細分類番号	8 0 5 1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当
前年度の報告内容からの変更点			

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成29年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)		72	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	140	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑩)	1	t
	総計(④=②+③)	141	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑥=②×1000/事業所等の延床面積)	347.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=(⑧)×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	970.5	45.00	43.7	0.014	2.2
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間(22時～翌18時)	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	282,748.0	9.76	2,759.6	0.489	138.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合 計						2,803.3		140.4
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,793.0			0.251	0.5
	公共下水道	☐	m ³	1,793.0			0.439	0.8
合 計								1.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 $\text{⑩} = (\text{⑧} / 1,000) \times \text{⑨}$ とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A205	取組内容や点検体制の定期的改善
エネルギー等の 使用状況の把握		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101 C106 C109 C114	空室・不在時等のこまめな消灯 冷暖房温度を都の推奨値へ変更 空室・不在時等の空調停止 事務用機器を省エネモードに設定	C115 C120	事務用機器を業務終了時に停止 外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D101 D104	ランプ等の定期的な清掃・交換 空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg・CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

①照明灯の間引き